

カンマームジーク@アルティ

Kammer musik

—室内楽の極み！弦楽五重奏の世界—

2019年5月12日(日) 14:00 開演 (13:30 開場)

会場：京都府立府民ホール“アルティ”



府民ホール“アルティ”という、優れた音響と雰囲気を持つこのホールで、皆様と共に音楽の奥深い世界を味わうシリーズの第5回目です。「室内楽=カンマームジーク」というジャンルは、古今の作曲家が、ある意味で最も音楽的に深い作品を書き残している世界と言えます。

プログラムは、①古今の名曲、②一度はぜひ聴いて頂きたい魅力ある作品、で構成。今回の①は、モーツァルトの「室内楽のジュピター」ともいえる壮大な音楽世界。②は、数少ないブルックナーの室内楽作品として、想定外の転調が導く後期ロマン派の濃密な宇宙。どちらも弦楽四重奏にヴァイオラがもう一人加わった編成だからこそ生まれた稀代の名曲です。

河野文昭

*カンマームジーク (Kammermusik) とはドイツ語で「室内楽」のこと。

| 曲目 |
|-------------------|
| ◆ W. A. モーツアルト ◆ |
| 弦楽五重奏曲ハ長調 Kv.515 |
| ◆ A. ブルックナー ◆ |
| 弦楽五重奏曲ヘ長調 WAB.112 |

[入場料] 全席自由

一般=3,500円／学生=2,000円

(アルティメイト一般=3,000円／学生=1,800円)

カンマームジーク@アルティ

—室内楽の極み！弦楽五重奏の世界—

玉井菜採 (たまい なつみ)

桐朋学園大学在学中に、ブラハの春国際コンクールに優勝。卒業後、スヴェーリング音楽院、ミュンヘン音楽大学にて研鑽を積む。この間、J.S.バッハ国際コンクール最高位をはじめ、エリザベート王妃国際コンクール、シベリウス国際コンクールなど、数々のコンクールに入賞している。平成14年度文化庁芸術祭新人賞、平成20年度京都府文化賞奨励賞など受賞。国内外で、活発な演奏活動を展開している。紀尾井ホール室内管弦楽団コンサートマスター、アンサンブル of トウキョウ・ソロヴァイオリニスト、東京クライスアンサンブルのメンバー。東京藝術大学教授。使用楽器は藝大所蔵のA.ストラディヴァリウス“Ex Park”(1717)。

永峰高志 (ながみね たかし)

東京藝術大学卒業後NHK交響楽団に入団。第2ヴァイオリン首席奏者として活躍する。在団中、同団への功績が認められ第32回有馬賞を授与される。2015年同団を退団する。現在ソリスト、室内楽奏者として活躍している。ゲストコンサートマスターとしても新日本フィルなどのオーケストラに出演し好評を得ている。東京クライスアンサンブルのメンバー。国立音楽大学教授、洗足学園音楽大学客員教授として後進の指導にも当たる。その指導はオーケストラ奏法にまで及び、門下からミュンヘンフィル、NHK交響楽団、東京都交響楽団をはじめ国内外のオーケストラのオーディションに数多くの合格者を輩出している。使用楽器は国立音楽大学より貸与されているA.ストラディヴァリウス“Joachim”(1723)。

佐々木 亮 (ささき りょう)

東京藝術大学附属音楽高校を経て東京藝術大学卒業。在学中、安宅賞受賞。藝大オーケストラと共に現音室内楽コンクール第一位、「朝日現音賞」受賞。東京国際室内楽コンクール(民音)第二位、「ルフトハンザ賞」受賞。1992年秋よりニューヨーク、ジュリアード音楽院入学。

在米中リンカーンセンターでリサイタルの他ソロ、室内楽奏者として全米各地にて活動。アスペン音楽祭、マルボロ音楽祭に参加。2003年帰国。2004年NHK交響楽団入団。2008年より首席奏者。東京クライスアンサンブルのメンバー。桐朋学園大学、洗足学園大学にて後進の指導にも当たっている。使用楽器はP.マッジーニ(制作年不詳)。

市坪俊彦 (いちっぽ としひこ)

東京藝術大学附属高等学校、同大学を経て、1992年同大学大学院を修了。在学中、東京文化会館推薦音楽会オーディション、NHK洋楽オーディション等に合格。藝大にて安宅賞を受賞。現在、定期的なリサイタル開催の他、澤クワルテット、紀尾井ホール室内管弦楽団、東京クライスアンサンブルのメンバーをつとめており、また国内主要オーケストラには客演首席奏者として度々招かれるなど、ソロ、室内楽、オーケストラの分野で活発な演奏活動をおこなっている。近年は南西ドイツフィルとの共演やイタリア・クープラ音楽祭への参加等、活動の幅を広げている。東京藝術大学准教授、沖縄県立芸術大学非常勤講師。使用楽器はP.マッジーニ(1610)。

河野文昭 (こうの ふみあき)

京都市立芸術大学卒業。1982年に文化庁在外派遣研究員としてロスアンジェルスで、その後ウィーン国立音楽大学にて研鑽を重ねる。黒沼俊夫、ライター、ナヴァラの各氏に師事。84年帰国後、独奏者として各地で活躍、コッコネンの協奏曲、ベリオの無伴奏曲「セクエンツァ XIV」などを日本初演した。また室内楽の分野でも、アルゲリッチとの共演を始め、アンサンブル of トウキョウ、紀尾井ホール室内管弦楽団、静岡音楽館(AOI)レジデントカルテット、東京クライスアンサンブルのメンバーとして国内外で精力的な演奏活動を行っている。81年第50回日本音楽コンクールチェロ部門第1位、90年京都音楽賞、92年大阪府文化祭賞を受賞、2017年京都市文化功労者。現在、東京藝術大学教授。使用楽器はN.リュボー“Ex Mercadier”(1822)。

2019年5月12日(日) 14:00開演(13:30開場)

会場：京都府立府民ホール“アルティ”

[入場料]

全席自由 一般=3,500円／学生=2,000円
(アルティメイト一般=3,000円／学生=1,800円)

[チケット取り扱い]

□ 京都府立府民ホール Tel: 075-441-1414

□ ローソンチケット (Lコード: 55489)

Tel: 0570-084-005 (予約専用) / 0570-000-777 (お問い合わせ専用)

□ エラート音楽事務所 Tel: 075-751-0617

□ コンサートモーツアルト Fax: 050-1359-4384 / E mail: conmox69@ybb.ne.jp

[共催] 京都府立府民ホール“アルティ” [協力] エラート音楽事務所 Tel: 075-751-0617



地下鉄烏丸線『今出川駅』6番出口より南へ徒歩5分
お車の場合は、御所の駐車場をご利用ください。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※都合により曲目等変更になる場合がございます。

予めご了承ください。